



目ざす豊かな

総合開
市民福

生活環境の整備では――
○道路：今年度から新しく市道舗装三ヶ年計画をたて、延長約六十キロにもおよぶ八十八路線の舗装を終わること。つまり、主要市道の舗装率は現在の二一・三四％まで引き上げる計画です。また、都市計画街路としての三路線の用地買収も行なうことになっています。

○橋りょう：能代川にかかる飯柳地区の桃源橋（まもなく完成します）、山先橋を永久橋に掛け替える計画です。
○消防：消防四十八基と防火水そう二十六基を、市内の各所に新設するほか、化学消防自動車購入計画も入っています。

○交通安全：市街地周辺に駐車場一〇二カ所を造成して、交通緩和をはかる計画です。
○住宅：新築町地内の木造市営住宅七十七戸分を、鉄筋コンクリート四階建ての永久住宅（六棟）に建て替えて、百五十二戸分に増やすことにしています。

○公園・緑地：秋葉湖周辺の自然公園化の整備と、遊歩道を延長するほか、公共用地内の緑化をすすめる計画です。
○下水道：人口増、水需要に応えるため、浄水場の能力アップ、汚泥処理施設の建設、配水管網の整備などを行なうことにしています。
○下水道：現在すすめている下水道建設をさらに推進して、尿処理場脇に終末処理場も建設する計画です。

○ごみ処理：ゴミの激増に備え、一日四十トンも処理できる焼却炉を新しく建設して、処理能力を一日七十トンまで可能な施設にすること。
○火葬場：老朽化しているため、環境の整った新火葬場を建設すること。
――などが盛り込まれています。

ぐんと伸びる市道の舗装率 ――生活道路の整備を推進―― 公園・緑地もいっばいに、遊歩道も増設

環境、健康な市民生活

発審議会が「基本計画」を答申
祉、環境整備など5つを柱に

実のある基本計画 実現可能な目標を設定

この基本計画は、およそ次のような考えかたで構成されています。
●まず、大きな目標として十年後の「市民生活の環境基準」が設けられてあるという事です。これは、向う十年の間にあって実現の可能性のある次のものを中心目標としているものです。
①市街地の下水道普及率を五〇％までにすること
と、一部水害常襲地をはじめ、市内から水害やたん水の完全解消をはかること
②蚊とハエを絶滅して、快適な市民生活を保障すること
③町内・部落間を結ぶ生活市道を一〇〇％舗装すること
④主要バイパス道路を建設して交通渋滞を解消すること
⑤緑化計画を進めながら市民広場とスポーツ公園を建設すること



緑化計画に合わせ秋葉山の公園化も進められます

●東西市街地を結ぶ新たな都市計画道路（鉄道跡線）を建設すること
⑦能代川分流完成後、旧能代川跡地一帯の公園化と、駐車場をもうけること
⑧労働会館と市庁舎を新しく建設すること
●また、ここでは、期待的な計画は除かれています。つまり五年の間に市が事業を行なうことができる範囲内にとどめています。
●：国や県の法令などで制度化されているものなども、この計画には折り込まれていません。
では、この基本計画の向う五ヶ年間の具体的な施策を、かいつまんでここに紹介し

てみましょう。
基本計画は、▽人口・土地利用▽生活環境の整備▽市民福祉▽教育・文化▽産業振興――と五つの柱に分けられ、まとめられています。

課題となる 工場団地造成

人口・土地利用計画では、人口は、五年後に六万二千五百人と推計されています。

近い将来、新幹線、高速道路のターミナル都市となる新潟市をひかえている関係で、今後とも新潟市には、着実に人口の増加がある――との観点に立ち、すでに急増している秋葉川周辺に合わせたいろいろな施策を計画しています。これに伴う土地利用計画は、市街地、農用地などの調整区域と、それぞれの用途に応じた利用をはかることにしていますが、当面その課題――工場団地をどこに求めるかということや、秋葉山の総合公園化といった建設なども、大きな計画とされています。

(三ページへ)

表具
鈴木一心
一級技能士 法定防火壁工事店 本町3番2-2035
訓練指導員 建設業 登録店

ロマンスのヒロイン
資生堂ビューティーク
マツヤ TEL(2)0418
本町2丁目 第四銀行が向い。北越銀行がとなり

家を壊しはじめてからでは おそすぎます
ご予約はお早目に (☎ 4-1000)……電話移転工事
心をつなぐ 新津電報電話局